

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	熊本県体育指導委員協議会参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名	高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	中島 仁
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進	所属班	スポーツ振興班	(内線)	1505
				法令根拠	スポーツ振興法		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	10	6	1	10823			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和36 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
・熊本県体育指導委員協議会主催で行われる研修会、研究大会への参加。及びその上位団体である九州地区、全国大会への参加。
【業務の流れ】
・会議にて大会の通知と参加者の選定、申込と旅行の手配(交通手段・旅費等)、大会への同行、大会の復命(復命書・会議での報告)
【主な予算費目】
・旅費、研修負担金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・熊本県体育指導委員研究大会・新人体育指導委員研修・熊本県女性体育指導委員研修会・第1ブロック女性体育指導委員研修会及び・九州地区体育指導委員研究大会に参加した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 体育指導委員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 研修会 大会参加人数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 体育指導委員の資質を向上させる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 体育指導委員数 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに取り組む仲間ができる。 学習やスポーツリーダーになる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 研修により資質が上がったと答えた体育指導委員の割合 % → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 活動している生涯学習・スポーツ団体数 団体 → イ 市内在住のインストラクター数/生涯学習施設で各種講座を担当しているインストラクター数 人

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	329	362	489	338	448	448		448
	うち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0		0
	うち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	0	0	0		0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	6	6	5	6		6
		延べ業務時間	時間	90	150	61	61	61	61		61
(B) 人件費計		千円	357	597	243	243	243	243	243		
トータルコスト(A)+(B)		千円	686	959	732	581	691	691	691		
活動指標	ア イ	人	57	38	43	27	36	35	35		
対象指標	ア イ	人	27	27	27	27	27	27	27		
成果指標	ア イ	%	未把握	100	100	96	100	100	100		
上位成果指標	ア イ	団体 人	376 79.8	297 57.4	384 82	338 57.4	387 83	390 84	390 84		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・昭和36年体育指導委員の資質の向上を目的に始められた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・平成12年にスポーツ振興基本計画が制定され、平成18年に一部改正された。
・旧町時代はそれぞれ15名定員であったが、合併後30名以内の定員になった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・体育指導委員からは、年々研修に関する予算が削減されているので、できるだけ研修会に参加させてほしいとの意見がある。

事務事業名	熊本県体育指導委員協議会参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ ・意図の体育指導委員の資質を向上させることにより、結果の学習やスポーツに取り組む仲間ができる。 ・学習やスポーツリーダーになるに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ・体育指導委員の資質の向上また、市のスポーツ振興に必要である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ ・対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・体育指導委員個々の意識高揚を促すという成果を上げている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ ・体育指導委員の資質の向上が見込めなくなり低迷する。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ・類似の事業がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・最少人数で対応している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・効率的におこなっている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ・市民(地域)の代表である体育指導委員が市民の生涯スポーツ普及のお手伝いを行う資質を身に着けるために最低限度の費用で事業展開している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・他市町村の取り組みなどを研修することは、大いなる刺激になり意識も変わる。ニュースポーツの習得に関しても合志市にフィードバックできるので重要な事業である。課題は体育指導委員によって意識レベルの差を感じることである。 ・体育指導委員の中にも意識のレベル差を感じるので、全体の底上げを行う必要がある。体育指導委員の中で高い意識レベルを持った人を中心に全体的な意識の徹底

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)